

市民の皆様からのご意見と札幌市の考え方

本年度の各局の予算要求の概要を11月25日から公表し、12月26日までの間、市民の皆様からのご意見をいただきました。

公表にあたっては、今年から新たな取組みとして、中学校への出前講座を行ったこともあり、多くのご意見をいただくことができました。

お寄せいただいた全てのご意見の要旨とそれに対する札幌市の考え方について、以下のとおり公表いたします。

・意見の項目数	64項目
・意見提出者	110人
・提出の方法	電話 6人
	F A X 7人
	電子メール 4人
	手紙・文書 93人

担当局	意見の要旨	市の考え方
危機管理対策室	災害対策にお金を使ってほしい。(他1件)	札幌市では、東日本大震災を受け、寝袋などの応急救援備蓄物資の増強などに約2.6億円を計上しているほか、津波対策など地域防災計画の修正に着手しております。また、防災協働社会の構築を図るため、小・中学校における防災教育などにも力を入れていきます。
市長政策室	初音ミクをもっと売りたい、札幌市にもっとたくさん人が来るようにしてほしい。市の広報などにも活用してみたい。	札幌市はこれまでも初音ミクと雪まつりや市電とのコラボレーション企画を実施してきました。今後も連携して札幌のプロモーションに取り組み、街の魅力を高めていきたいと考えています。
総務局	まず市長からそして市職員、市議の給与削減、特権等なくすこと、公費の無駄使いをなくしてほしい。	市長・市議等の報酬につきましては、有識者による特別職報酬等審議会の答申に基づき決定しており、また、本市職員については、人事委員会勧告に基づき市内民間事業所との均衡を考慮した改定を行っていることから、いずれも適正な水準にあるものと認識しております。今後も、適正な給与水準を維持するとともに、行政ニーズに応じた定員管理を行うことにより、人件費総体として節減に努めてまいります。なお、平成24年度予算につきましては、行財政改革推進プランに基づく職員数の見直しや特殊勤務手当の見直しにより、約7億円の人件費の見直し効果額を見込んでおります。
市民暮らしづくり	地区会館の改築・整備にそんなに予算をかける必要はないと思う。(他2件)	地区会館は地域活動の拠点として様々な活動に利用されていますが、老朽化した施設が増えてきていることなどから、より利用しやすい施設にするための改築・整備を行うものですので、ご理解をお願いします。
	地区会館の改築、整備をすれば市民の利用も増えると思うので、もっと力を入れてほしい。	地区会館が地域活動の拠点として多くの方々にとって利用しやすい施設となるよう地域の要望を取り入れつつ整備を進めてまいります。
	真駒内の小学校の閉校校舎を南消防署にし、その空いた南消防署の用地を使って南保健所の改築を行い、保健所での事業を充実すべき。	真駒内駅周辺については、中長期的な土地利用の方向性等を盛り込んだまちづくり指針を策定する予定です。今後の検討にあたっては、いただいたご意見を参考としながら進めていきたいと考えております。
	路面電車の延伸は必要性が薄いと思うので、福祉など他の事業に力を入れるべき。(他9件)	路面電車の延伸により、観光客を含めた多くの利用者が気軽に回遊できるようになるとともに、路面電車を都心のまちづくりに積極的に活用することで札幌市全体の活力向上につながるかと考えております。
	路面電車延伸にもっと力を入れてほしい。(他1件)	現在、札幌市では、路面電車の利便性の向上や都心のまちづくりへの活用を目的として、「都心」「創成川以東」「桑園」を対象地域として、延伸の検討を進めており、まずは「都心」地域の「西4丁目」電停と「すすきの」電停を結ぶ路線のループ化に関する具体的な検討を進めております。市電のループ化全体では約30億円を見込んでおりますが、そのうち平成24年度は約5億円の予算を計上しております。
	路面電車について、若い人が利用するイメージがなく利用しづらいので、若者向けのPRも充実させてほしい。	路面電車につきましては、沿線の観光施設との連携を図るほか、デザイン性に優れた車両の導入や都心部での魅力的な空間整備により、交通機関としてだけではなく、都心のまちづくりへの活用を目指しております。
	市電延伸のためにお金を使ってほしい。	現在、札幌市では、路面電車の利便性の向上や都心のまちづくりへの活用を目的として、「都心」「創成川以東」「桑園」を対象地域として、延伸の検討を進めており、まずは「都心」地域の「西4丁目」電停と「すすきの」電停を結ぶ路線のループ化に関する具体的な検討を進めております。
財政局	予算要求の概要、予算編成方針について、政治学的な言語表現なのでわかりづらい。	予算要求の概要、予算編成方針をはじめ、予算に関する公表資料につきましては、専門的な表現を使う場合もございますが、今後とも説明内容に気を配り、平易な表現を心がけていきます。
	名古屋市のように市民税を減税すべき。	市民税の税率は、地方税法に標準税率として規定されており、本市においても、条例により標準税率を採用しています。本市の財政状況等を踏まえると、減税は極めて難しいものと考えています。
保健福祉局	生活保護受給者の就職支援に力を入れるべき(他2件)	生活保護制度では、一定の条件を満たした生活保護受給者に対し、資格取得のための技能習得費や求職活動等を行う際の交通費等の支給を行っています。また、市の独自事業として、各区役所に就労等に関する相談員の配置や、長期末就労者に対して就業体験的なボランティア活動の場を提供するなど、受給者の状況に応じた就労支援体制の整備、拡充を進めており、今後とも効率的な支援を行ってまいります。
	障がい者の生活保護受給者自体を減らす為、軽度障害者の働けるモデルケースを市が作り、企業も賛同出来る制度を作るべきだ。	障がいのある方の雇用に関しては、障がいのある方を5名以上雇用する等の一定要件を満たす民間企業等の法人に対して、運営経費の一部補助を行う「障がい者協働事業」を拡充するなど、障がい者雇用の促進に努めています。

担当局	意見の要旨	市の考え方
保健福祉局	特別養護老人ホームの新築費補助はもっと増やしても良いと思う。(他4件)	平成24年度については3か所、計240人分の特別養護老人ホームについて整備する予定で、約5.3億円の予算を計上しています。 今後とも高齢者等が負担する介護保険料に配慮しながら、入所の緊急度が高い高齢者の方ができるだけ早く入所ができるよう、特別養護老人ホームの整備を計画的に進めてまいります。
	老人福祉センターにある運動後のマッサージのための器具の実態調査及び器具の補充をしてほしい。	施設の老朽化に伴い、各設備の更新を計画的に行っているところではありますが、優先度の高い更新が他にも多く控えております。現時点では、マッサージ機器の補充は検討課題として考えております。
	(障がい者元気スキルアップ事業費に関する意見) 研修、見学にとどまらず職業紹介という項目も設けているが、本市における就労相談を含めた障がい者支援の一体(一括)化を行う事について検討すべき。また就労実績に結びつくような対策づくりが必要。	障がいのある方への理解を深めるためのセミナーをはじめ、一定の条件で障がいのある方を雇用した場合に運営費を一部補助する制度や、障がいのある方の就職、職場定着等に関する相談を行う事業など、さまざまな面からの支援を行っております。今後につきましても、各事業を連携させて、障がいのある方の就労支援をより効果的に進めるよう取り組んでまいります。
	敬老パスについて、他都市で行われているように移住後、3年してから交付を検討すべき。 また、敬老パスは安すぎるので、子どもと同じ半額を負担させてはどうか。	今後、敬老優待乗車証の持続可能なあり方を検討していく上で、参考にさせていただきます。
	特別養護老人施設について、高齢の方をしめだす施策にしてほしくない。	高齢者等が負担する介護保険料に配慮しながら、入所の緊急度が高い高齢者の方が概ね1年以内に入所ができるよう、特別養護老人ホームの整備を計画的に進めてまいります。(再掲)
	路面電車延長について、障がい者、敬老パスの継続をしてほしい。	障がい者交通費助成制度及び敬老優待乗車証については、路面電車延長後も当面は、これまでと同様の取扱いをする予定です。
	(地域で支え合う健やかでぬくもりのあふれる生活への支援について) 交通費減額支援について、精神障がい者も身体、知的同等になってほしい。また、働く集える場所としての障がい者支援にもっともつと力をいれてほしい。	(精神障がい者運賃割引について) 障がいのある方に対する運賃割引につきましては、各交通事業者で実施しているものでありますが、札幌市といたしましても、精神障がい者の方への適用拡大に向け、引き続き国や各交通事業者に対して、粘り強く要望していきたいと考えております。 (働く集える場所について) 就労継続支援、地域活動支援センター等の施設は、一般企業等への就職が困難な方の働く場や創作的活動等の場となっています。今後、より一層の充実に向け検討を進めてまいります。
	お年寄りのためにお金を使ってほしい。(他5件)	今後とも皆様のご意見等を踏まえながら高齢者施策の進め方について検討し、引き続き介護や保健福祉サービスの充実、社会参加の機会の確保等を図っていきたくと考えております。 なお、平成24年度については、介護保険の新たなサービスとして、24時間型の定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスの導入など地域に住みやすいサービスを充実するほか(平成24年度予算本市負担分:約21億円)、特別養護老人ホームの整備を拡充(予算額:約5.3億円)するなど、高齢者施策の充実にあつめていきます。
	障がいのある人のために、お金を使ってほしい。	平成24年度について、障がいのある子どもの通学時の安全確保や保護者の就労を促進するため、移動支援において通学支援を実施する予定です(予算額:約1.1億円)。このほか、障がいのある方が利用する各種サービスの充実等を図っております。 今後とも皆様のご意見等を踏まえながら、障がいのある方のための制度のあり方等について検討し、サービスの充実等を図っていきたくと考えております。
	70代前半の医療費は3割負担にすべき。	医療機関で治療を受けた際に支払う自己負担割合は、法律で定められております。なお、現在国において70歳から74歳までの自己負担割合の見直しが検討されております。
インフルエンザ等の対策にお金をつかってほしい。(他2件)	インフルエンザ等の対策については、その予防を第一に考え、引き続き流行状況の情報提供や日常生活における予防方法の啓発等に努めてまいります。	
予防接種を無料にしてほしい。	現在、本市では、予防接種法に定めのある7種類の予防接種(三種混合、二種混合、ポリオ、麻しん風しん、BCG)と予防接種法に定めのない3種類の予防接種(子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌)を無料で行っています。今後も、国の方針に沿って、対応を進めてまいります。	
子ども未来局	札幌市は児童クラブ有料化案を撤回すべき。	今後も、放課後児童施策の充実を持続していくためには、経費の一部について利用者の皆様にご負担いただく必要があると考えておりますので、ご理解願います。
	「放課後児童クラブの充実関連」と「ミニ児童会館」は児童クラブ単独施設ではなく、ミニ児童会館の中で合同で運営した方が効率である。	札幌市では、現在、児童会館及びミニ児童会館において児童クラブを開設しており、ご意見のとおり運営の効率化を図っているところであります。
	児童会館の備品をもっと充実させてほしい。	児童会館の備品については、子ども運営委員会などをはじめ、会館を利用する子どもたちの意見も参考としながら、充実を図ってまいりたいと考えております。
	私立保育所整備費等補助に力を入れてほしい。(他1件)	札幌市では依然として待機児童が増加傾向にあることから、経済状況や社会情勢に柔軟に対応しながら積極的に保育所整備を行ってまいります。24年度は、私立保育所整備費等補助金として、18.3億円余りを計上しており、保育所の新築や増改築などで定員を1,000名増やす予定です。
	子ども手当について、家計が苦しい家庭だけに配布するようになってほしい。	子ども手当は、社会全体で子育てを応援するという法の趣旨から、所得制限を設けず一律に支給していますが、平成24年6月分以降から法改正により所得制限を導入する制度となる予定です。

担当局	意見の要旨	市の考え方
子ども未来局	少子化対策のため、出産のときにお祝い金を交付するなどの優遇をしては。	札幌市では、待機児童解消のための保育所整備や子育て家庭の支援のためのサロンの拡大など、緊急かつ重要な課題を解消するため、まずは子育て環境の整備に全力で取り組んでいるところです。
	幼稚園の延長保育に予算を付けて欲しい。また、平日だけのところが多いが夏休みや冬休みも開園してほしい。	待機児童対策の一環として、認可保育所と同等の時間帯及び期間に預かり保育を行う私立幼稚園に対する運営支援を新年度より開始することとしております。
	地域子育て支援拠点事業関連について、拠点型常設サロンモデル事業の予算が厚生労働省から出ている1事業所あたり予算から、札幌市が低い予算となっているのはなぜか。	国が定めた補助額については、その上限を示したものであり、子育てサロンの設置状況など札幌市の現状も検討したうえで必要な経費を積算し、札幌市の補助金を決定したものです。
	待機児童が多いので子育て対策に予算を使ってほしい。(他2件)	保育所整備による定員増を図るほか、家庭的保育や事業所内保育など多様な保育サービスを提供することにより、待機児童の解消に向け取り組んでまいりたいと考えております。具体的には、家庭的保育事業として約1億2千万円を計上、保育ママを13人増やし、定員を120名とするほか、事業所内保育施設の設置促進に関し、3千万円を計上しています。
	子育てで苦労している親を助けるために子育て支援対策に予算を使ってほしい。(他4件)	子どもを安心して生み育てることができるまちづくりを目指し、保育所定員の拡大など、保育サービスを充実するとともに、子育てサロンの拡大など、子育て支援体制を充実します。
環境局	ごみ減量にお金を使ってほしい。(他1件)	「スリムシティさっぽろ計画」に基づき、家庭から排出される生ごみや紙ごみの減量・リサイクルなど、事業ごみや家庭ごみの減量に努めています。
	太陽光パネルの設置補助を充実させるなどして、CO2削減を目指すべき。	市民や中小企業者向けに太陽光パネル設置補助の実施など、引き続きCO2の削減に努めます。
	暖房エネルギーなど環境施策について、もっと広報を充実して市民に分かるようにした方がよいと思う。また、施設にかかる光熱費はもっと減らしていくべき。	環境施策についてはパンフレットや広報誌、ホームページなどを活用して更なる広報の充実を図ります。また市役所の光熱費は着実に減っていますが、LED照明への切り替えや冷暖房設備の効率的運用等により、更なる省エネに努めます。
	札幌・エネルギーecoプロジェクト事業の市民向け補助120,000千円の予算を大幅に増額してほしい。また現状の実績(補助利用件数・電力量など)の様子が市民にわかりやすく知らせてほしい。	新エネ・省エネ機器導入補助支援については、平成24年度予算では市民向け補助として前年比60,000千円増となる180,000千円を、補助金総額では前年比80,000千円増となる225,000千円を計上しました。また、利用件数・機器設置費用などの情報は利用者からの声なども含めて今後も積極的にホームページ等で広報していきます。
	地球温暖化対策にお金を使ってほしい。(他1件)	「スリムシティさっぽろ計画」に基づく生ごみ資源化システム実証実験などのごみ減量・リサイクルや、「温暖化対策推進ビジョン」に基づく太陽光発電設備等の導入補助などの新エネルギー・省エネルギーの普及、「みどりの基本計画」に基づく公園や緑地の整備など、環境保全の取組を推進します。平成24年度は、地球温暖化を含む環境費に合計で約148億円を計上しています。
	環境対策にお金を使ってほしい。(他3件)	
	環境保護のためにもっとお金を使うべき。	
小・中学生が家の中でゲームにひた然くてもよいように、最新の遊具を揃えた公園を作してほしい。	公園全体の整備について検討する中で、皆様に喜ばれる遊具の更新も考えていきたいと思っております。	
経済局	経済にお金を使ってほしい。(他2件)	自立した経済をつくるため、札幌市では、経済を支えている中小企業の皆様への資金の貸付を中心とした様々な経済対策を積極的に行っており、平成24年度では経済費として約943億円を計上しています。
	30～45才位の中年の世代でも仕事やアルバイトすら見つからず、無職かひきこもりも少なくありません。20代までと年齢を制限せずにもっと年齢に目を向けてほしい。	就業サポートセンターにおいて、中高年向けセミナーをはじめ各種セミナーを行っているほか、Skipさっぽろでは様々な年代の方に対し、資格取得や職場実習を通じた就職支援を行っております。
観光文化局	観光施策にお金を使ってほしい。	多くの観光客が来ることにより、人々の交流が進み活気あふれる街になりますので、観光は大事な産業です。札幌市の予算は大変厳しいですが、平成24年度は雪まつりで映像機器を使って動きのある大雪像を見せることやフォトウェディング(結婚記念写真旅行)を目的とした海外からの観光客を増やすなどの新しい取組を行い、観光を盛り上げてまいります。
	区体育館における健康管理機械(検査器具としてのInbody)の導入と指導体制の充実を。	各区体育館の設備については、利用者のニーズを十分にとらえた上で検討していきたいと考えております。
	学生が利用するスポーツ施設をもっと充実させてほしい。	札幌市の限られた予算の中で、学生と限定はせず、幅広い世代の方にご利用いただけるよう、スポーツの振興について引き続き取り組んでまいります。
建設局	予算を使い切る為と同じ所を何回も掘り返している道路工事について無駄だと思ふ。困っている人の為に使ってほしい。	道路拡幅工事などでは、予め地下埋設物を移設する場合が多く、同じような箇所を掘り返す状況となってしまうこともあります。関係部署による掘削調整会議を開催し、計画的かつ円滑な工事に努めています。また、歩道のバリアフリー化などの人にやさしい歩道整備や、防災や交通確保などに資する耐震化や道路拡幅など街づくりに重要な事業を行っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

担当局	意見の要旨	市の考え方
建設局	ロードヒーティングの箇所をもっと増やして冬時期の道路を滑りにくくしてほしい。また、滑り止めの砂を雪道にもっと撒いてほしい。	ロードヒーティングは、整備・維持管理に多くの費用を要し、新規整備は難しく、そのため凍結防止剤や砂の散布を行っています。交差点等に滑り止め砂を置いていますが、皆さんも協力をお願いいたします。
	他の事業の予算を少なくしてでも、もっと細い道まで除雪を充実してほしい。	札幌市では、除雪関連事業に例年150億円程度の予算を計上し、道路の除雪等を行っておりますが、幅員の狭い道路は、除雪作業による雪のたい積スペースがなく、本市で使用している大型の除雪機械では、塀等を破損する恐れがあります。通常の道路とは異なり地域の要望によりシーズン数回除雪するなどの対応をとっておりますので、ご理解とご協力をお願いします。
	市民助成トラックの確保に万全を期してほしい。	ダンプトラックについては、近年の公共工事の減少などの影響から年々減少しているため、限られたトラックを有効活用するとともに、地域に対しても排雪標準断面での施工を協力いただき、制度を維持していきたいと考えております。
	地下鉄麻生駅駐輪場整備に関して、当駅北改札口から離れている事情を考慮して駐輪場の利用促進(完成後)の為に広報活動の充実をすべき。	ご指摘のとおり、当該駐輪場は、地下鉄出入口から離れていることから、誘導整理員による啓発や路上放置自転車に対する啓発札の貼付等により利用向上を図って行きたいと考えております。
	道路のことにお金を使ってほしい。	様々な条件を勘案したうえで、街路灯がない道路への街路灯設置や狭い歩道の拡幅など、誰もが安心・安全に歩ける道路空間の確保を進めてまいりますので、引き続き道路整備に対するご理解とご協力をお願いいたします。
	歩道の縁石工事は夏に行うべき。	基本的には冬期施工とならないよう工程調整に努めております。しかしながら、工事に伴う地下埋設物などの占用物件の移設調整等により、工期が冬期間にずれ込む場合もあります。可能な限り冬期間に工事がずれ込まないように努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。
都市局	札幌版次世代住宅普及促進事業はもっと充実してほしい。	平成24年度からスタート予定の初めての事業でありますので、初年度の認定状況などを踏まえながら、検討を進めてまいりたいと考えております。
教育委員会	学校の設備にもっと力を入れてほしい。(トイレの洋式化、網戸の設置、冷房の設置など)(他4件)	学校の施設整備については、限られた予算の中で耐震補強や太陽光パネルの設置を優先的に実施しています。設備の改修については、大規模改造工事等に併せて必要な箇所を順次進めています
	いじめ問題のためにお金を使ってほしい。(他4件)	現在、いじめの問題をできるだけ早く発見して、解決に向けた対応をするために、全ての市立小中高等学校の児童生徒に対して、いじめに関するアンケート調査を実施しています。 その他、学校非公式サイト等の対策を実施するとともに、いじめに悩む児童生徒に対する支援として、スクールカウンセラー等を各学校に配置して(予算額:約2.1億円)相談体制の充実を図っています。
	市資料館を会議室として貸出すべき。	札幌市資料館では、会議等に利用できる研修室や作品展示等に利用できるギャラリーの貸し出しを行っております。
	スキー学習にかかる費用を市で負担してもらえたら、スキー場の利用も増えて、観光の方も成長すると思う。	スキー用具の準備のための家庭の負担を少しでも軽減することを目的に、市民の皆様から、使わなくなったスキー用具を提供してもらい、希望する家庭に提供する、スキー用具のリサイクルを行っております。
	市立中高一貫教育校の設置について、開成だけでなく他にも検討してほしい。	中高一貫教育校の設置は札幌市として初めての取組ですので、設置後、教育効果や札幌市全体への影響などの評価をしたうえで、更なる取組について検討します。
	中高一貫校の設置は、空き校舎を利用すべき。	中学校・高校双方の適正生徒数を収容できる等の適当な空き校舎は現時点では存在しないことから、老朽化が進んでいる開成高校の校舎を改築することとしています。
	電子書籍を学校に導入してほしい。	デジタル教科書の試験的な導入については、様々な課題もあることから、今後の国の動向に注目していきたいと考えております。
	高校の数をもっと増やしてほしい。(他1件)	高校の数や学級数については、中学校卒業生数を踏まえ、北海道教育委員会と協議したうえで適宜整理しておりますが、高校数の増は、少子化が進んでいる現状では難しいものと考えます。
交通局	地下鉄のためにお金を使ってほしい。	地下鉄は、乗車料金等で運営することが原則ですが、現在、一定の基準のもとで、建設費への補助など約137億円の税金を受けています。今後も収入を増やす取組などを続けてより良いサービスの提供に努めていきます。